



Polaris news

【北高ニュース NO.202203】

「ユネスコ講演会」

国際開発とジェンダー ～全ての人々が幸せに暮らせる世界を目指して～
(2022.5.06)

1年生全員と国際理解コース2・3年生対象に、名古屋大学国際開発研究科学術研究員でいらっしゃる古藪真紀子氏を講師にお迎えしご講演いただきました。国際協力について、そしてジェンダーとは何かをアクティビティを通して分かりやすく説明して下さった後、古藪氏が実際アフガニスタンでされていた女性のエンパワーメント活動のお話をしてくださいました。最後に、アフガニスタンの現状や戦争・紛争について触れられ、「世界で起きていることをいろいろな視点で考えて欲しい。私たちにできることは何か。」と問いかけられました。世界に目を向けることの大切さを知り、自分たちができることを考える機会を与えてくれた大変貴重な時間となりました。



■生徒の感想より

- ジェンダーやアフガニスタンの現状を知って、世界の苦しさについて少しわかったような気がした。これから僕らに何ができるのかネットや本などで調べてみようと思う。
- 日本のジェンダー問題はまだまだ多くて、世界の中でも低いけど、アフガニスタンのように日本より厳しいジェンダー問題があるのだと改めて痛感した。
- 世界の出来事に関心を持ち、知るだけでなく、自分にできることを考え、積極的にいろいろな活動に参加し、行動を起こそうと思った。また、性別や国籍を見るのではなく、その人らしさ、その人自身を見ていこうと思った。
- 何よりも心に残ったことは、古藪先生とアフガニスタンの方々の「強さ」です。何事にも積極的に立ち向かっていく勇姿から本物の「強さ」を感じました。僕もこのような「強さ」を身につけ、何事にも決して挫けず、自分の利益のためだけでなく、人びとの利益のためにも働きかけられる人間になれるよう努力したいです。
- 『男の子』『女の子』で区別するのではなく、『自分らしさ』で区別する」という言葉がとても印象に残りました。